# 事務事業評価シート

評価対象年度 平成 20 年度

## 【事務事業の基本的事項】

事	務	事	業	名		角館のお祭り保存会補助金										
担	当	課	係	名	文化則	ł	課	文化!	財	係	作成者		畠L	山豊	加寿	
40		. —			施策の大綱	明日を	を担う人	、材を育む教育	育文化の	まち					計画の	
総 位	合 言 置	画	囲で	」で づ	のけ	基本計画	芸術文	芸術文化活動の振興と文化財の保護						ページ		
122					主要施策	文化則	文化財の保護と後継者の育成									
予	算	責	貴	目	一般	会計	10 款	教育費	5 項	社会	教育費	4	目文	化財	保護費	
事	業	其	月	間	平成 年	度 ~	平成	年度	新規	見/継続	続の区分			継続	ī	
性	質	Σ	<u> </u>	分	□ 市民サ-	- ビス		公共事業 🗌	施設維	持管理	里」補	助	金 🗌	内部	部管理	
根	拠	法	令	等	文化財保護法											
事	務	Σ	<u> </u>	分	✓ 自治	事務		□ 法定受	託事務							
運	営	ブ	<u></u>	法	□ 直 営		直営(	一部民間委託)		民間	委託(全部	3)	<b>√</b>	補	助	

## 【事務事業の実施内容】

事業の対象 (誰のため・何を)	市民のため、「角館祭りのやま行事」を
事業の目的・意図 (どういう状態に したいのか)	重要無形民俗文化財に指定されている「角館祭りのやま行事」を末永く、後世に正 しい形で伝えていく。
事業の内容 (どのような業務、 活動を行うのか)	「お囃子コンクール」「おやま囃子芸能発表会」の開催。全国山・鉾・屋台保存連 合会の活動に参加。

# 【事務事業の推移】

			Ij	Į.	目			単位	18年度実績	19年度実績	20年度実績	
	: <b>1</b> .=	£4.	+ + +	りやま榊フサ北交主人			目標	団体	23	23	23	
	活動指標		おやま囃子芸能発表会 出動団体			S .	実績	団体	14	17	14	
効	ITIM UINDIM						達成度	%	60.9%	73.9%	60.9%	
果	成身	₽	おやま		芸能発表会	<u> </u>	目標	人	500	500	500	
	指標			、 <sup>嘛」:</sup> 観客動		<u> </u>	実績	人	500	700	800	
	3111	<i>3</i> 5		±/6 🗀 ±/	J. Z. X.		達成度	%	100.0%	140.0%	160.0%	
	項目					総事業	曳	18年度決算額(千円)	19年度決算額(千円)	20年度決算額(千円)		
	事業費(人件費を除く				<b>徐く)(A)</b>				500	500	500	
	,	人 件 費 (B)							1,963	2,018	1,981	
		職 員 数							0.25	0.25	0.25	
投 下		職員平均人件費							7,853	8,071	7,925	
$\Box$	1 (A) + (B) 投下コスト						2,463	2,518	2,481			
スト		Ξ	国 庫 支 出		出 金							
	財	県	支	Н	出 金							
	財源一内	坩	<u>ե</u>	方	債							
	訳	7	<u>-</u>	の	他							
			- 般	貝	才 源				2,463	2,518	2,481	
単位	位   活動指標1単位ヨにリコスト(円)					)			175,929	148,118	177,214	
コスト	市	市民1人当たりのコスト(円)							77	80	80	

## 【事務事業の今までの成果】

角館のお祭り保存会は、重要無形民俗文化財の指定時、受け皿としての保存団体としてスタートした。18年を経て、薬師堂・神明社・お囃子・手踊り・曳山・張番・山組方・人形師等々、お祭りに関係する団体17、個人36人の大きな組織に成長し、お祭りを広く市内外に宣伝し、正しく次代に伝え、永く保存する活動を行っている。

#### 【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	全国山・鉾・屋台保存連合会の加入団体も年々増加している。秋田市の「土崎港曳山まつり」も平成10年に加入し、平成22年には土崎で総会が開催される。
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	旧来から近隣の人々もお祭りについて、その役割を担うという形態であり、非常に関心が高い。

#### 【一次評価】

判 定	Ę	業	の	方	向	性	判	定	に	至	つ	た	理	由
	Α	現状のま	ま継続(	(実施)										
	B 1	見直しの	上で継続	も(拡大	()		7							
	B 2	見直しの	上で継続	も(手段	改善等	)	]							
	B 3	見直しの	上で継続	も(縮小	١)									永く保
A	C 1	大幅な見	直しのよ	で継続	. (拡大	)	┥存する <i>た</i> ┥の展開 <i>た</i>							
/ \	C 2	大幅な見	直しの上	で継続	〔(手段	改善等)	一ある。	2.3		, , ,	<b>がピールソし</b>		V 1 \ 3	0.52.13
	C 3	大幅な見	直しの上	で継続	(縮小	)								
	D	休止・廃」	上 ( 統合	を含む	)を検討	する事業								
	Е	終了(完成	は及び目的	りを達成	し終了し	た事業)								

一次評価の判定がB~Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容(改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。)

#### 【二次評価】

判	定		判	定	に	至	つ	た	理	由	
A	\	補助対象団体続き事業の推					存団体の	として重	要な役割	を担っており	)、引き

